

ふらばーるばれールール

ルール一覧(要略)	
概要	『ふらばーるバレー』とは… 2つのチームが一定のコート上でネット越しに変形ボール(ふらばーる)を打ち合う、バレーボール型のスポーツである。 軽い変形ボールを使用するため、スピードが遅くつき指の心配がないので、ボールに恐怖心を持つことがない。 また、ボールの飛ぶ方向に意外性があり、予測がつけにくくゲームを面白くしている。参加者全員をローテーションの対象とするため、参加者全員が平等に楽しめる。
コート規格等	①13.40m×6.10mの広さ(下図)。 ※バドミントンコート(ダブルス用)を準用 ☆詳細は下図参照 ②支柱・及びネットはバドミントン用とし、その高さは1.55mとする。 ③ボールはふらばーるを使用し、その大きさは30cmもしくは60cmとする。
チームの構成	・チームは1チーム5名以上で構成し、参加者全員をローテーションの対象とする。 ※ただし、競技者はコート内の5名とする。下図の場合「A、B、C、D、G」
ゲームの勝敗	①1試合における競技セット数は、3セット・マッチとし、2セットを先取したチームがその試合の勝者となる。 ②セットの勝者は、21点先取したチームが勝ち。
得点の方法	・相手チームがサービスや返球に失敗したり、または他の反則(反則については下記の「プレー上の反則」を参照)を犯したときは、ラリーに勝って1点を得る。また、もし相手がサービス・チームであれば、サービス権も得る。 ☆ラリーポイント制。
ゲームの開始	ゲームの開始は、キャプテンが「じゃんけん」によりサーブもしくはコートを選択する。
サービスの仕方	「サービス」はコート中央からアンダーハンドで打ち、その回数は1回とする。ただし、コート中央のサービスライン(0.5m)を踏み越してはならない。下図の場合は「C」がサーブ。 ※ただし、バドミントンコートを準用する場合、0.5m幅のサービスラインを特に設けることなく、右前方のプレイヤー(下図の「A」)がアンダーでサーブしてもよい。(特別ルール)
サービスの順番	①サーブを得たチームで、そのチーム内のサービスの順番はチーム内で決める。 ②ラリーに勝ったチームがサービス・チームであれば、前にサービスした同じ競技者がサービスを行う。 ③サービスをレシーブしたチームがラリーに勝った場合は、サービス権を得て時計周りにローテーションし、後ろ中央に位置した競技者がサービスを行う。
プレー	①サーブレシーブはボールが床につく前にレシーブをし、3回以内に相手コートに返す。 ②相手コートから返ったボールは、必ずワンバウンド後にレシーブをする。 ※ただし、ワンバウンドしたボールがネットに触れた時は、ネットを離れて床につく前にレシーブをする。 ③3回で返す場合は必ず異なる3人の手を経て、相手コートに返さなければならない。 ※ただし、3回目にボールがネットに触れて、自分のコートに返ってきた時に限り、あと1回のプレーが許される。
プレー上の反則	①サービスされたボールが、ネットに触れるか、相手方競技者に触れずにボール・アウトになったとき。 ②ボールがコート区画線の完全な外側の床に落下するか、コート外の物体に触れたとき。 ③ボールが、ネット下を通過して、相手方コートに入ったとき。 ④ネットを越えて相手方コートに打ち返すために、ボールへの接触が、最大限3回を超えたとき。(オーバー・タイムス) ⑤イン・プレー中に、ネットに触れたとき。(タッチ・ネット) ⑥同一競技者が、明らかに2度続けてボールに触れたとき。(ドリブル) ⑦ネットによって分けられた相手コート上にあるボールに触れたとき。(オーバー・ネット) ⑧サーブレシーブをした相手から返ってきたボールをノーバウンドでレシーブした場合。 ⇒上記の場合はすべて反則しなかったチームに1点入り、反則したチームがサービス・チームであれば、サービス権も反則しなかったチームに移る。



直径
30cm or 60cm

